

# AWC-TC 自立への道

**AWC-TC (エダブルトレーニングセンター)とは?** ノーマライゼーションの目標を根底に障害を持つ人たちが望む「生活」「生き方」はどのようなものかを共に考え、実現のために必要な人的・物的条件・環境などを整え、社会参加の方法を実現していくためにフォーマル・インフォーマルなサービスを駆使する事業所。

自立への訓練項目 & 概略の流れ(詳細は下記) 生活基礎訓練+短期的社会適応訓練 ⇒ 所内職場実習 ⇒ 修了証交付 ⇒ 所内就職(1・2・4・6・8H) 併行して介護OJT研修や学習会に積極的に参加 ⇒ 介護OJT・修了証交付 ⇒ 所外就職(居所の自立も試みる)を視野に入れる

人として身につけねばならない意識(情操等取得訓練)	精神的ADL ;	1 生きること	2 死ぬこと	3 生活すること	4 働くこと	5 遊ぶこと	6 努力すること	7 挑戦すること
	上記の事柄については短期間における学習や訓練での理解は困難である。定期的及び臨機に学習会等を開催し主体的な意識、理解ができるようにエントレスで研修活動を行う。							
基本的・継続的日常生活動作訓練とその考えかた	セルフコントロールを基本にADL及びIADLを一つずつ実施;日常生活のスキルとしての現状把握。取得すべきこと改正すべきことを確認し生活スキルとして確実に一つずつ身につける。 生涯を通じて社会や地域に受け入れられる素直な態度・常識的な態度(考えかた・行動)とはどうあるべきかを具体的な生活及び活動場面から繰り返し汲みとり社会成熟化させる。							
社会的・協調的生活訓練 ; QOL向上訓練①	ADL・IADLの確認と実施(効果・結果&必要所要時間)、活動において周囲との整合性をはかり現状を踏まえ目標に沿ったやり遂げる素直な行動(協調性&責任性)。一人ではないことを認識。 OJT・GWT・カウンセリング等により; 突発的な状況下(自分のこと・周りのこと)における危機管理能力(適宜・適切な連絡・報告)の向上。悩みの具体的な解決方法。生活をするための金銭感覚を養う。							
職場実習・社会体験学習 ; QOL向上訓練②	法人内介護事業所の仕事や活動を遂行する為に主体的な素直な態度で流れや内容を理解する。仕事、活動内容の理解のための質問・聞き取り・連絡・報告の徹底を図り成果を確実なものとする。 仲間・集団・組織の中での役割の理解や自己責任のとり方を学ぶ。何事も一人では成り立っていないことと権利と義務の理解。賃金を得る事の意味や一人で生活する為の周囲との連携のあり方を学ぶ。							
生活基礎研・修了証交付	地域で生活をする、生きていくという事の主体性を持った意思の確認を行い、生活及び介護事業所での基礎訓練修了を踏まえて生活の具体的な目標をたてる。						※ AWC職員義務研修 1 所内研修 6ヶ月 48H	
1or2H(時間給)採用～	職員としての基礎的な考え方や技術並びに社会人としての常識を維持向上させるために職場でのOJTや学習会等へ参加し職業人、社会人としての能力の幅を広げる。社会参加の場における危機意識を常に持たせる。(長時間勤務が困難な場合)							
4H(時間給)採用	職員としての基礎的な考え方や技術並びに社会人としての常識を維持向上させるために職場でのOJTや学習会等へ参加し職業人、社会人としての能力の幅を広げる。適度な緊張による活動を意識、集中力を持続させながら常に危機対応実行態勢をとる。							
介護OJT・修了証交付	法人内介護事業所での勤務技術や社会人としての行動等;自立生活の基礎技術を自分自身で行使できることを確認して修了証を発行。プログラム実施においてリーダーシップを意識して行動する。						※ AWC職員義務研修 2 所内研修 6ヶ月 48H	
6H(時間給)採用	危機直面に際し、主体的に回避及び連絡行動がとれる。職場において部分的に一人で責任とれる内容の仕事こなすことができる。常に素直な態度で部署のリーダーとし有限責任を明確にし責任を持って行動する。自分の活動が常に説明できる。							
8H(時間給)採用	危機直面に際し、主体的に回避及び連絡行動がとれる。職場において部分的に一人で責任とれる内容の仕事こなすことができる。素直な態度で勤務及び活動場所において全体を意識し自分の役割を認識でき、日課の急な変更にも即対応ができる。							
8H(月給)採用	人から「信頼」される人間を目指す。周りから求められているのは「素直さ」と「努力」そしてリーダーシップ。人が見えていないときや問題に直面した時には直ちに適切な行動ができる。所内での基礎研修会の講師を担当したり新たな知識、実践力を獲得する。							

※以上の項目について前進とフィードバックを繰り返しながら各年齢や能力に応じた適切な指導・訓練を受け主体的な社会生活を目指す。

ことば; ノーマライゼーション Bank-Mikkelsen.NE. Nirje.B. OJT(On-the-job-training)企業内教育 ADL(Activities of Daily Living)日常生活動作 IADL(Instrumental Activities of Daily Living)手段的日常生活動作  
QOL(Quality of Life)生活の質 GWT(Group-Work-Training)グループワークトレーニング 自己理解と対人コミュニケーション能力アップ